

森下委員提出資料

2025 年日本万博基本構想（私案）

テーマ：世界を健康長寿社会に導く：ヘルスケア・イノベーションのエコシステム

会場：関西・大阪湾一帯（メイン舞洲、京都、神戸、淡路、和歌山、徳島など）
目標人数：インバウンド、若者・子供にもターゲット

3 原則；

- 1) ハードでなく、ソフト中心（パビリオンは最低限の建設：政府主導で、日本の医療のモデルルームを作り、恒常的に万博後も政府施設として運用、例えば再生医療センター、あるいは、日本医療開発機構附属病院など）
- 2) 関西全員参加型
- 3) メリットのある企業で構成
ファンドでの資金集めも考慮
万博+USJ のセット料金など吸引力のある施設との連携

総合リゾート（関西全域を総合リゾートに。京都の世界文化遺産の和食、淡路の食・農業、和歌山の食・漁業、大阪のスポーツなど）形成と交通インフラの整備（2025 年に関空一舞洲一新大阪を整備：北陸新幹線利用）を同時に進める

基本構想（4 つ葉のクローバー）

- 1) 先進医療（再生医療など日本の最先端医療のショールームを作り、日本型医療の輸出を促進する：新規パビリオンー永続設置、舞洲）：クールジャパンとも連携して活動、介護（AI/ロボット/ドローン/ICT 活用による日本型介護のショールームなど）
- 2) 運動・スポーツ（府民参加型ソフトイベント、舞洲などを中心に毎週末イベント開催、例：ギネスに挑戦、3 万人でラジオ体操、3 万人でヨガ、舞洲庁舎を歩いて上る 1 万人運動、淡路大橋を 3 万人で横断など）
オリックス、エベッサ、ガンバなど大阪本拠地の野球・サッカー・バスケットなどと協力して開催
USJ も活用（第二 USJ の誘致）
- 3) 食（ミラノ万博の日本館をイメージ、ユネスコ登録無形文化遺産の和食

森下委員提出資料

を広げ、農作物の海外輸出につなげる、医食同源、期間中舞洲会場などで食の祭典を開催、機能性表示食品展示販売、全国各地の農作物を展示販売、京都での和食と健康、淡路・神戸・南河内などで農業体験とテーマパーク（フルーツパーク、藤井寺ワインなど）、和歌山で漁業体験とテーマパーク（黒潮市場、近大マグロ養殖など）近畿一円で万博と連動して開催、健康食品・化粧品なども、機能性をテーマにイベント開催

- 4) ライフスタイルのイノベーション：笑いによる健康長寿、未来型都市モデル、全自動運転車、アンチエイジングマンション・住居、住むだけで元気になるスマートシティ